

Leap seating

# Steelcase



## 生産性の向上が実証されたイス、Leap

Leapは「人の背骨を真似る」世界初のチェアとして、人体と「座る」ことの本質を見つめなおし、イスの常識を超えて「飛躍(Leap)」する革新的なコンセプトから生まれました。その比類のないフィット感、動き、サポートは、調査でも実証され、17.8%の生産性が向上\*1したことが証明されています。

### 私たちは、もういちど人の座り方を理解することから始めました。

調査\*\*の結果、常識を変える4つの発見がありました。①背骨は1つのユニットとして動かない – 背もたれにもたれると、背骨の上位は後方に動こうとし、下位は前方に弓なりに動こうとします。②背骨のカタチと動きは一人ひとり異なる – 体格・年齢・性別が同じでも、座るときの背骨の動きは一人ひとり異なります。③背骨の上位と下位では必要なサポートの量と質が異なる – 背中の下部は一定のサポートを求めるのに対して、背中の上部はリクライニング姿勢をとるに従い、必要なサポート量が増えます。④姿勢により人の視覚範囲や腕の位置は異なる – リクライニング姿勢をとると、デスク上の作業との距離が離れ、目や腕や首に負担がかかります。\*\*\*

\*スチールケースは参加者200人以上の1年間におよぶフィールドスタディを実施し、時間経過による筋骨格症状の発生レベルを調査、評価しました(この研究調査は、テキサス大学Health Science CenterのBen Amick博士の指導のもと、医療調査・コンサルティング会社Health and Work Outcomesによって実施されました)。

\*\*調査には、11の研究、732人のテスト参加者、4つの大学、27人の科学者および人間工学の専門家のチームが参加。調査の結果、開発されたのがLeapチェア。米国特許庁によって40以上の実用新案特許と15以上の意匠特許を認められています。

\*\*\*これらの4つの発見はLeapを開発をする上での指標となり、その後、Alive Seatingという定義(動き、オリエンテーション、フィット感、サステナビリティ)として、スチールケースが開発するすべてのチェアのガイドラインとなりました。



### 座りつつ、動く。だから快適さと生産性に差が出ます。

座っている間も自由に動くことによって、背骨の負担が軽減され、全身を行き交う血液が常にスムーズに流れ、筋肉に酸素が送られます。Leapは、ライブバックテクノロジーとフレキシブルなシートエッジによって、身体の個別の形状に順応し、自由な動きを促します。このため、身をよじる必要がなく、作業中に身体を動かすことができ、より快適かつ生産的に作業ができます。

### 背もたれに身体をあずけて、効率よく仕事をする？

背もたれにもたれながらリラックスして作業をする。一見ラクに仕事をしているようですがこの方がいいのです。体重の一部がチェアの背もたれに移動して、背骨への負担が軽減されるからです。チェア自体がリクライニングするものは数多くあります。しかし人間の身体そのものがリクライニング姿勢で作業ができるチェアはありませんでした。さあ、リクライニングしてみてください。Leapがいつでもあなたの背中を支えているのを実感できるはずです。



## 一人ひとりの「あなた」にフィットするように仕立ててあります

まるでオーダーメイドのようにフィットする、思い通りに調節できる使いやすいチェアさえあれば、もう我慢して身体をチェアに合わせる必要はありません。多彩な調節機能、でも簡単に調節でき、一日中あなたの身体を快適に支えます。

### 1 ライブバック機構

Leapの背もたれは、背骨全体を支えるように形状が変化します。これにより、背中の下部がずり落ちたり、前かがみの姿勢になることが少なくなります。

### 2 熱コントロール

座面と背もたれのスラットおよび特殊素材を使用することにより、長時間座っていても熱や湿気がこもることがありません。

### 3 背もたれ下部強度調節機構

背もたれの下部の強度を調節できます。ユーザーの体格や好みの強さで背中の中の自然なカーブを適切に支えます。

### 4 座奥調節機構

人それぞれに体格が違うため、座面の奥行を調節することにより、体格が違って、長期的に快適な座り心地を確保できます。



### 5 4Dアジャスタブルアーム

上下、左右、前後にスライドおよび首振りの調整により、また、やわらかい肘パットを使用することでさらなる快適性を実現しました。

### 6 ナチュラルグライドシステム機構

シートが前方にグライドするため、視界や手の届く範囲を動かすことなく、リクライニングできます。これにより、さらに多様な姿勢を取ることができ、背骨にかかる負担が減ります。

### 7 フレックスシートエッジ

前傾姿勢の際に座面の前方エッジが曲がり、大腿部への圧迫をやわらげますが、イスから飛び出すような感じはありません。

### 8 背もたれ上部反力調節機構

背もたれの上部の反力を調節できます。ユーザーの体格や好みの強さで快適なリクライニング姿勢をとることができます。

### 9 バリアブルバックストップ機構

リクライニングする際の角度を5段階で設定することができます。

#### 張り地



標準

縫製\*

3Dニット

#### アーム



上下、左右、前後スライド、首振り可能なフル調節

上下高さ\*

肘なし

#### フレーム仕上げ



ブラック

ミッドナイト\*

プラチナ

ポリッシュ\*

#### タイプ



ワークチェア



スツール\*



ワークチェア  
(ヘッドレスト付)\*



リープワークラウンジ\*



オットマン・テーブル\*

\* USからの輸入対応



Leapはその開発からライフサイクルのあらゆる段階において、人に与える影響と地球に与える影響の両方が慎重に検討されて誕生しました。私たちは初期段階から環境の専門機関であるMBDC (McDonough Braungart Design Chemistry) と共同で、人の健康と環境に安全と評価された材料だけを使用しています。Leapは94%までリサイクル可能で、原材料の選択から製造、物流、使用、廃棄時に至るまでライフサイクル全体を通して環境への影響を評価する詳細なプロセスを実施しています。

LeapはCradle to Cradle<sup>™</sup>の認定を受け、銀賞を受賞、Scientific Certification Systemsから低排出製品として、Indoor Advantage認定も受けています。

### ライフサイクルアセスメント



### 張り地

#### オムニR



#### クロスチェック



#### 3Dニット

